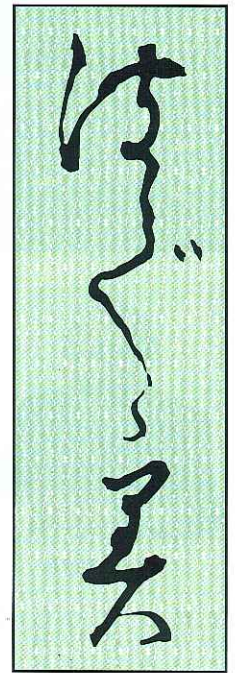


大分県PTA



発行所 大分市下郡字長谷496の38 大分県教育会館2F 大分県PTA連合会

光る紙面から感じる力量

第31回 大分県PTA広報紙コンクール



講評する帆足審査委員長



県知事賞の表彰を受ける鶴谷中代表



各賞を受ける代表者

県知事賞に 育友会 会報 鶴谷 佐伯市立鶴谷中学校育友会

第31回大分県PTA広報紙コンクールに、県内の小・中学校より133点の応募があり、4月2日の審査会で49点が入賞した。表彰式は4月16日、県教育会館で行われ、約90名が出席した。

おめでとうございます 第31回 大分県PTA広報紙コンクール入賞校

- 県知事賞 「育友会会報 鶴谷」 鶴谷中(佐伯市)
県PTA会長賞 「広報 つるおか」 鶴岡小(佐伯市)
優良賞 沖代小(中津市) 森岡小(中津市) 桃園小(中津市) 津留小(中津市) 朝日中(別府市) 境川小(別府市) 上野ヶ丘中(別府市) 南大分中(別府市) 城南中(別府市) 城東中(別府市) 明野中(別府市) 植田西中(津久見市) 植田南中(津久見市) 賀来小(佐伯市) 金池小(佐伯市) 中島小(東部) 春日町小(日田市) 西の台小(日田市) 南大分小(順不同) 神崎小(順不同)

表彰の後、帆足三郎審査委員長は今回の審査で感じたこととして、次の点をあげた。見出し、レイアウトを含め、内容が良くなっている。

経験は財産 表彰の後、帆足三郎審査委員長は今回の審査で感じたこととして、次の点をあげた。見出し、レイアウトを含め、内容が良くなっている。

基本を忠実に 県知事賞受賞の鶴谷中学校育友会安藤洋子広報委員長は「新聞づくりのセオリーである、5W1H(時間、場所、人物などが分り易く文中に

表形式では、入賞校の代表や関係者が出席する中、藤田千克由県PTA連合会長は「広報紙を通じて何を伝えるか、問題が読者に伝わったかが大切。活字でどうやってPTAの活動内容を伝えていくか、それが問われているのではないかとあいつつした。小矢則教育長(代理郷家康徳県教育庁生涯学習課課長)が祝辞を述べた。

審査員 帆足 三郎(委員長) 大分合同新聞文化センター顧問 安部 崇夫 大分県広報教育研究会会長 森崎 純次 大分県教育庁総務課課長補佐 岩尾 淳一 大分県PTA連合会「はくく」顧問 藤田千克由 大分県PTA連合会長 (敬称略)

審査方法・基準 5人の審査員が1人10点の持ち点で1次審査。集計をもとに審査員の協議による2次審査で各賞を決定する。
①読みやすく、わかりやすく、すっきり
②年間のシリーズ物、企画物があるか
③広報紙の特色(運動会等の扱い)
④写真のバリエーション、トリミング
⑤地域の特色が出ているか
⑥レイアウト、見出し、カットの整理力
⑦誤字・脱字がないか

お知らせ ☆第31回大分県PTA広報紙コンクール 優秀広報紙縮刷版 県内の各小・中・特別支援学校の広報部には1冊贈呈しました。

日々多忙の中、前向きに、そして楽しみながら広報紙に携わってきた横顔が清々しく並んでいた。



学びになる他校紙

また、「部員間のコミュニケーションが大切。互いの思いやりの心が、よい新聞をつくっていくのでは」など充実した活動の様子が伺えた。

自然が山野を描く如く、描きうる画家がいるだろうか? 自然がほどこす彩色に挑みうる想像力を、誰もがもちうるだろうか? 英国の詩人トムソン「四月前後の野山をみて何時もこの言葉を思う。そして、入学、進級した児童生徒の登下校する姿を見ると、自然の美や輝きに目を留め、その想像力に畏敬の念を持つ成長を強く願う」

「自然が山野を描く如く、描きうる画家がいるだろうか? 自然がほどこす彩色に挑みうる想像力を、誰もがもちうるだろうか? 英国の詩人トムソン」

「自然が山野を描く如く、描きうる画家がいるだろうか? 自然がほどこす彩色に挑みうる想像力を、誰もがもちうるだろうか? 英国の詩人トムソン」

「自然が山野を描く如く、描きうる画家がいるだろうか? 自然がほどこす彩色に挑みうる想像力を、誰もがもちうるだろうか? 英国の詩人トムソン」

「自然が山野を描く如く、描きうる画家がいるだろうか? 自然がほどこす彩色に挑みうる想像力を、誰もがもちうるだろうか? 英国の詩人トムソン」

「自然が山野を描く如く、描きうる画家がいるだろうか? 自然がほどこす彩色に挑みうる想像力を、誰もがもちうるだろうか? 英国の詩人トムソン」

「自然が山野を描く如く、描きうる画家がいるだろうか? 自然がほどこす彩色に挑みうる想像力を、誰もがもちうるだろうか? 英国の詩人トムソン」



# 社会と生きる力 発揮できる環境に



前田 明理事

藤田 子どもたちが抱える問題について、それぞれの役割の中でどう考え、どう関わっていくのか率直なご意見をいただきました。ありがとうございます。

前田 ネットなどに関するニュースを子どもと見ながら話し合うことが大切ではないでしょうか。社会で起きている問題を子どもが知るよう促すことが、子どもの問題

前田 以前にもTVや個室の弊害などの子育て上の問題を抱えていました。今は、情報化により、子どもが親の知識を超えてしまったことで益々深刻になっていくと思います。このような状況の中、大人は子どもにどう接していけばいいのでしょうか。

## 大人はどのように接していくべきか

前田 ネットなどに関するニュースを子どもと見ながら話し合うことが大切ではないでしょうか。社会で起きている問題を子どもが知るよう促すことが、子どもの問題

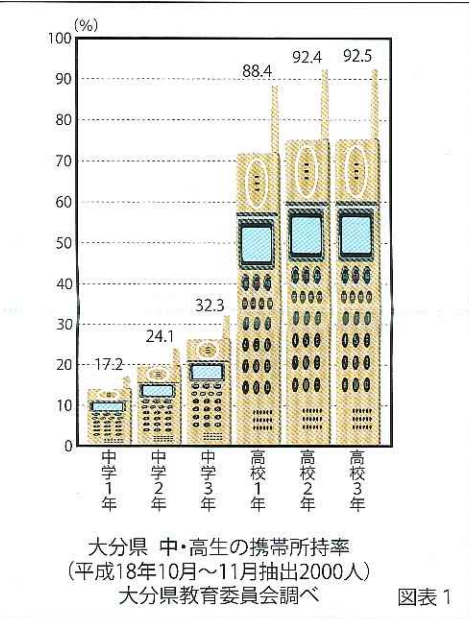


二宮 誠一郎課長

二宮 子ども電話相談にはネットの掲示板に悪口を書かれてクラス全員への不信感から不登校になった子など携帯でのいじめの相談が多く寄せられています。

三浦 高Pのアンケートでは、子どもは親が携帯のことでよく知っている認識しているという結果がでました。実態はメール・電話以外の機能を把握していません。

藤田 子どもがメールを頻りに使っている姿を見ると、心配になります。コミュニケーション能力の必要性について何度も話し、注意を促しています。



が、繰り返し啓発していくことが意識を変え、ことに繋がると思います。

前田 ネットについては自己責任であり親の問題であろうと思えます。PTA・地域で本気で取り組まなければならないでしょう。

三浦 情報モジュールを教える能力(情報リテラシー)に差があります。学校での携

前田 「総合的な学習の時間が減って学力重視になっているのでは」という意見もありますが、そのあたりは？

前田 「総合的な学習の時間が減って学力重視になっているのでは」という意見もありますが、そのあたりは？

三浦 総合的な学習の時間を現場がようやく有意義に使えるようになってきているのに、時間が減らされてもつたいないと思うのですが...

前田 総合的な学習の時間では追及してきたものを各教科に盛り込んでいくようですね。

前田 学力以前に学習能力、

三浦 以前は地域社会が活性化していたが、個の社会になって会話する場所が無い。体験が減ってコミュニケーション能力を培う場所が少なくなっている。

三浦 子どもたちがコミュニケーションをうまく取れなくなると20年前から指摘する声は多いです。突き詰める必要なのは、言語能力ではないかと。言語能力は、すべての活動に通じているという考えです。

三浦 子どもたちは、だれでも認める場の空気を創り、積極的に関係を創る人になってほしいものです。

ネット社会の中で、子どもたちにどのようにして「生きる力」をはぐくんでいくのか。3月28日、おりしも新学習指導要領の告示が行われたこの日に、各分野からの出席を得て座談会を開催し、子どものために、大人が何をしていくべきかを探った。

## ネットで起きている子どもの問題とは

藤田 子どもたちが抱える問題について、それぞれの役割の中でどう考え、どう関わっていくのか率直なご意見をいただきました。

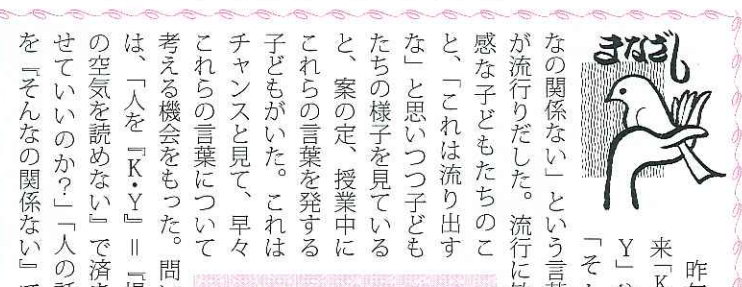
二宮 子ども電話相談にはネットの掲示板に悪口を書かれてクラス全員への不信感から不登校になった子など携帯でのいじめの相談が多く寄せられています。

三浦 高Pのアンケートでは、子どもは親が携帯のことでよく知っている認識しているという結果がでました。

藤田 子どもがメールを頻りに使っている姿を見ると、心配になります。

三浦 子どもたちは、だれでも認める場の空気を創り、積極的に関係を創る人になってほしいものです。

- ### 出席者紹介
- コーディネーター 国立大学法人 大分大学 理事 前田 明
  - 大分県教育庁義務教育課 課長 三浦 徹夫
  - 大分県生活環境部私学振興・青少年課 課長 二宮 誠一郎
  - 大分県警察本部生活安全部少年課 課長 今山 敬久
  - 大分県高等学校PTA連合会 (大分県立鶴崎高等学校PTA会長) 会長代行 三浦 啓亨
  - 大分県PTA連合会 会長 藤田 千克由子 副会長 神 祐子 (敬称略・順不同)



空気と関係  
子どもたちには、だれでも認める場の空気を創り、積極的に関係を創る人になってほしいものです。





分野をこえ膝を交えて話し合う出席者

# 緊急座談会 インターネット PTAの力を



三浦 啓亨 会長代行

習慣が身に付いていないことを、今回中教審答申は深刻に受け止めていますね。

**藤田** 情報が氾濫する中で生きる力というのは知識を下支えにした選択能力だと思いませんか。情報活用能力や問題意識を高め選択能力を伸ばすために何を教えていくのか、課題になっていくのではないかと考えています。

**前田** そもそも、様々な問題を抱えている子どもたちが、ネット社会で個人的なメディアでつながって無防備な状態

**今山** 現在、国レベルでの対策として出会い系サイト規制法の一部改正作業が進められており、事業者への届出制導入や無届、行政処分などに違反した場合は、罰則が課せられるなど改正されれば犯罪の抑止、被害の防止に効果があると思えます。また、総務省の要請を受け携帯電話会社では、1月よりフィルタリングサービスの普及促進に向けた取り組みが始まっています。

**前田** フィルタリングは有効ですが、今は2割しかないですね。(平成20年3月現在) それにすり抜けるものも出てくるでしょう。最終的には人間フィルタリングとし

## 激変する社会にあつて求められるものとは

で放り込まれている。総務省が2000年に携帯の所有群と非所有群を比較したデータがあるのですが、すべてにおいて有意差が出た。つまり、生きる力をデータから見れば携帯を持つ子どもは生きる力を抽出しにくい状況になってきているわけですね。しかし、今や持たせないことは難しい。情報技術の専門家はいない。情報モラルの専門家はいない。早急な育成が望まれます。

**三浦(徹)** 先生を指導する指導主事の研修に講師を招聘して先生のための情報モラル指導など研修をしています。情報活用能力が千差万別なので、学校に指導する行政職やスタッフがまず共通の認識とある程度の技術を持って臨む必要があるのではないかと考えています。



三浦 徹 夫 課長

て親なり大人がチェックすることが必要です。そのために相談し合える親子関係を築くことが大切です。

**二宮** フィルタリングなどは、対症療法です。根っこにあるのは、親と子がどういった関係を持つかという事で、乳幼児期からの親子の信頼関係を築いていくことだと思えます。

**三浦(啓)** 最終的には家庭の在り方、コミュニケーションだと思えます。それからPTA活動はマンネリ化に陥

## フィルタリングしていますか？

**神** 家庭が教育の基本であることは、私たち保護者も強く感じています。各家庭に浸透させるためにどうすればいいか毎年、毎年考えています。同じ活動になりがちなので、その時々合った活動をしていく必要を単Pに発信していく時

期になつてきているのかなと思つています。ネットの問題だけでなくいろいろな問題において保護者の在り方が重要だと思えます。

**二宮** 新しい事業を組む時にどういった連携を組んでいくかという発想で考えてはいるのですが、現場をききと知らないで組んでいくところもあるかもしれない。現場を踏まえたアイデアがあれば連携していきけるのではないかと考えています。

**三浦(啓)** 情報の共有化を図っていくというのがキーワードですね。学校

## 新学習指導要領の教育内容に関する主な改善事項

- ① 言語活動の充実
- ② 理数教育の充実
- ③ 伝統や文化に関する教育の充実
- ④ 道徳教育の充実
- ⑤ 体験活動の充実
- ⑥ 小学校段階における外国語活動
- ⑦ 社会の変化への対応の観点から教科等を横断して改善すべき点
  - 情報教育
  - キャリア教育
  - 心身の成長発達についての正しい理解
  - 環境教育
  - 食育
  - ものづくり
  - 安全教育

## PTAの活性化が問題解決のカギ



神 祐子 副会長

**前田** ネット以外にも問題はありますが、まず、ネットの問題の深刻さを訴えるところから活動の輪を広げて解決していければいいですね。子どもにとつてネットは魅力的でありネット内でストレス発散している面もある点その点も考慮してほしいです。

**二宮** 正しい使い方やフィルタリングの有効性の啓発に財団法人ハイパーネットワーク社会研究所の講師を派遣する取り組みもしています。

とPTAが、同じ方向を向いて、どういった問題があるか情報を交換して意思の疎通をはかることが大切です。

**前田** 子どもにふさわしい活動を回復するためには、また、子どもの育つ基盤を充実させるためにも地域…そこにもPTAの役割というのがでてきたわけですね。

**前田** 高校生には大学生が教えたり、親には大学生が教えていくなど、PTAでいろいろ考えていくといいですね。

**藤田** それにはまず参加率を上げることから考えていく必要があります。学校評価にPTA活動の参加率の評価も対

**前田** ネット以外にも問題はありますが、まず、ネットの問題の深刻さを訴えるところから活動の輪を広げて解決していければいいですね。子どもにとつてネットは魅力的でありネット内でストレス発散している面もある点その点も考慮してほしいです。

**二宮** 正しい使い方やフィルタリングの有効性の啓発に財団法人ハイパーネットワーク社会研究所の講師を派遣する取り組みもしています。



藤田 千克由 会長

**前田** PTAを活性化してネット社会を生きたる教育を進めていくわけですね。

**三浦(啓)** 保護者に対して、意見を言えるのは、やはり保護者だと思えます。PTAが保護者を説得していく必要を感じます。

**前田** 自分の視点が唯一だと思つている保護者もいます。多様な視点があるという事をPTAが知らせることが出来たらいいですね。

**三浦(徹)** 携帯には、十分な知識と教育が今こそ必要なのだと思います。中学校の技術科にモラルや著作権、発信の責任が入りました。ネットに繋いでも

の責任、モラル以前のルールを大人も学ぶ必要があると思えます。また、子どもがターゲットになっているので相談できる環境を整えていくことが大切です。

**二宮** 「大人が変われば子どもも変わる」県民運動を進めています。大人が日頃の行動で模範を示してほしいです。

**三浦(啓)** 子どもは大人の作った環境の中で育つていきます。まず保護者が変わらなるといくら子どもの健全育成といつても絶対子どもは変わらないと思えます。



## 我が家の驍は大丈夫!?

**最近仕事** が替わって勤務時間が短くなつた。少し余裕ができたので、なるべく家事をしようと以前より台所に立つようになった。ある日、夕食の一品にキンピラゴボウを作っていた。そこへ仕事を終えた社会人2年目の長女が帰ってきた。「いいにおい。あっ、キンピラだ。かあちゃんが作ったの?」あんな失礼な、他に誰が料理してくれたら「だっ!」っていつもお惣菜多かつたよ!」うっ、今まではね!確かに、パートの仕事と夜はPTAの会合が多い私は、つい市販品に頼る事が多かった。長女に「あなた、キンピラ作れるよね?」と聞いてみた。「わかん。学校で習

てないもの「えっ?一緒に作って教えんやっ!」覚えなないけど。なんと、あと2、3年もしたら嫁入りしそうな娘に、私なりに家事炊事少しは覚えてきたと思つてた。が、そのつもりになつてたのは私の思い込みだったのだろうか。親として、できている、やっていると思つても子どもには、それほどキツリ思いが届いていないようである。子どもが成長するにつれ、両親共に働いて忙しい、子どもも部活動や塾通いなどで忙しい。一週間に何回全員揃つて食事ができるだろう。我が家は大丈夫と思つていた自信が足元から崩れるような、そんな気がする今日この頃である。

中津市立緑ヶ丘中学校  
PTA会長 松本 雅恵

めず地道に投げかけをしていく必要があると思えます。

**藤田** 県Pでも有害情報講演会などを開いていますが、まだ十分ではありません。情報の共有を図り、お互い協力できるようにして、PTAの力が発揮できる環境づくりを考えていきたいと思つています。

**前田** 地域再生のカギはPTAです。ネット問題などに対してもPTAの出番だろうと思えます。情報化社会はいろんなものを変えていきます。PTAをはじめ地域の社会的支援としてあらゆるところがこれから連携して立ち上がっていくかなければならないことが確認できたことをうれしく思います。

**藤田** PTAの重要性と各分野が連携することの必要性を強く感じました。ありがとうございました。



一人ひとり一つひとつを大切に。

**MSIG 三井住友海上**

あなたのすべてを守りたい。

保険のことなら三井住友海上代理店まで。

宇佐市PTA  
連合協議会  
事務局長  
松本 布城美

# ネットワーク 16 報 村PTA

※16は県下郡市等P連の数

各連合会独自の特色ある活動(父親のための子育て講座や、安心院高校PTAと連携を持ち、中高一貫教育の存続推進活動を行っている両院P連、新会員・新役員研修会等)特色ある研修活動を続けている宇佐地域P連を尊重しつつ、昨年11月25日に『第1回宇佐市PTA連合協議会指導者研修会』を合同開催することができました。

## 互いを尊重し 合同開催

宇佐市PTA連合協議会は市町村合併によるPTA連合会の完全合併の準備機関として、両院地域PTA連合会(昨年統合され2校となった中学校と7校の小学校、会員数800名)と宇佐地域PTA連合会(宇佐市PTA連合会改め)中学校5校と小学校17校、会員数3700名)とによる協議会として19年度に発足しました。

初めての合同開催でしたがとても意義ある研修会となりました。これから両連合会の良い特徴を生かしながら、一つの行政下にあるPTA連合会として、子どもたちを等しい環境下に置くことを責務と心得、宇佐市PTA連合協議会は進化していかねばならないと考えています。

## これから さらに進化



分科会に多くの参加者

# 『子ども育てでは親育ち 共に学ぼうPTA』を目標に

宇佐市PTA連合協議会

600名となった8つの分科会は安心院小学校・安心院中学校で開催され、分科会場は交流の場になり、多くの意見交換ができ、参加者は皆良い刺激を受けていました。

全体会(講演会)は安心院町文化会館で開催され、聖ヨゼフ寮の松永國治寮長先生の『子どもを愛していますか?』と題された講演を聴講し問題提起を受けました。

## 第23回日中友好「少年少女の翼」

# 広がる友情 深まる友好

日P主催の第23回日中友好「少年少女の翼」が3月26日から31日の6日間にわたり実施された。両国の友好親善を深め、歴史、文化を学び、国際化社会にふさわしい心豊かな青少年の健全育成を図ることを目的に交流を続けている。今年も県から2名の中学生が参加。感想を寄せてもらった。

## 最高の6日間

白杵市立豊洋中学校  
2年 那須 聖天

今、僕は日中友好「少年少女の翼」に参加できたことに心から感謝しています。初対面の人と友だちになれ

## 感謝!!

佐伯市立鶴見中学校  
2年 磯川 舞

私は、日中友好「少年少女の翼」に参加して本当に良かった。中国の中学生とは

## みんなが がんがえる コーナー

### 「目立つ」つもりはありませんが...

◎ 中学1年生の母親です。娘は、まじめな性格で頑張り屋さんの傾向が強い子どもです。学級役員を進んで引き受けたリリーダーになったりするなど活動的で、私には友だちのことをよく話してくれています。最近、ふさぎこみ、元気がなくなり心配になっていました。本人の話では、詳しいことは話してませんが、友だちとの気持ちのズレが気になってくるようでした。うかない表情の娘を前に、この状況をどう受け入れたいらいいのでしょうか。

▲ 思春期の人間関係は、身近な家族関係よりも友人との関係を強く意識するようになると言われています。それだけに、友だちと良好な関係は欠くことができません。お尋ねについてですが、本人のまじめな性格が仲間に入られずに戸惑っているのではないかと考えられます。ところどころ、最近の子供たちを知る言葉に「身体は小さいが、中身は大人になった」という話があります。これは、大人と同じような人間関係に巻き込まれるようになってい

る、ということだそう。つまり、仲間の中の「目立つ」ことを嫌ったり、「対立」「葛藤」を認めない人間関係のなかにおかれていることです。子どもさんの今の様子をどのような背景から考えますと、自分を十分に出不いストレスで一杯の現状かもしれない。大人社会に比べると多岐に話し合い、ストレスをためこまないようにしては、いかがでしょうか。みんなで考えるコーナー室長 岩尾 淳一

るのか、いろいろと報道されている食の安全、大気汚染問題等、不安だらけでした。でも、現実の中国は、広大でも多く感動の連続でした。中国の中学生との交流、万里の長城、天安門広場の見学、おいしかった北京ダック、どれも最高の思い出になりました。

全国から集まった6班のメンバーと木村先生と過ごした6日間は、とても楽しかったです。もう一度、みんなに会いたい気持ちでいっぱいです。今回できた友だちを大切に、また、学んだ経験を将来に生



大切にしたい友だちと



「参加して良かった！」

かしていきたいと思います。ありがとうございます。

**編集後記**

☆今年度の「はぐく美」編集スタッフを紹介します。

大村さゆり 丸木稲子  
指原里佳 竹本留美子(新)  
榎山千鳥(新) 堀田由紀(新)  
(顧問)岩尾淳一

☆新メンバー3名が加わり、新年度が始まりました。親しみやすい紙面づくりをめざします。ご愛読下さい。

- 県P情報**
- 6月6日(金) 定期総会
  - 6月27日(金) 幹部研修会
- 県P連補償制度**
- PTA安全補償
  - 自転車安全補償
  - 育英補償
- お問い合わせ先  
☆保険請求先  
(御)トータルアシスト  
☎0120-112357
- ☆制度全般について  
大分県PTA連合会事務局  
☎097(556)9055

ご覧になりましたか? 大分県PTA連合会のホームページ

平成19年12月に、県P連専門部会(IT活用検討部会)で立ち上げたホームページには、PTA活動のお役に立てる情報が満載です。みなさんの声もぜひお寄せください。

※県P連ホームページアドレス  
<http://www.oita-pta.com/>